

## 高津区おはなしアーカイブ

### ●高橋 邦禎（たかはし くによし）さん

昭和15年生まれ 77歳

川崎市高津区坂戸在住



#### ◆ご家族のこと

僕はここで生まれて、ここで育って、ずっとこの地で暮らして今に至っています。

5男1女の6人兄妹だったけど、四男の弟は生まれてすぐに親戚に貰われていって幼いうちに亡くなってしまいました。僕は次男です。

父は農業と雑貨・タバコ販売をしていました。母は商家の出で農業が向かなかったようです。

時代が変わって店は閉じて、平成2年に相続して、今はマンション経営をしています。最初は大手の会社の寮として貸してましたけれど、最近はシェアハウス（不動産会社が一括で借上げ、いろいろな企業に貸し出す）が主流になりました。

祖父の時代はタバコ販売（配給）とお酒の商いをしていました。父の時代は配給制の時代だったから、タバコを買う人が列になって並んでいました。新生とか、ピースとか、バットとか、そういう名前のタバコだったね。

田畑では米、野菜、枝豆なんかを作ってたね。

祖父は人を雇ってクレソンを育てたり、養鶏したりして、横浜の外国人向けに出荷してずいぶん儲けたって話です。

#### ◆幼児の頃の思い出

小さい頃は戦争だったわけだけれど、ほとんど覚えていないよ。疎開などはしていないね。防空壕があつて入るときに足を痛めて、整骨院に行った覚えがあるな。治るのにずいぶん長いことかかって親に心配かけたもんだ。

終戦は小学校に入る前の頃だったかね。

僕は幼稚園には行ってないですよ。周りの皆も行ってなかったと思うな。当時坂戸は100世帯くらいしかなかったんじゃないかな。市営住宅の方面が世帯数は多かったんだけどね。

近所はほとんど農家だったけど、家が電気屋の子とか、そういう農家じゃない家の子とも遊んでたよ。一緒に遊べたのは数人くらいだな。メンコ、ベーゴマ、ビー玉遊び、コマまわし、そんなことして遊んだね。たいていは外で遊んでたよ。

## ◆小学生の頃

小学校は高津小学校に入ったよ。学校までは、二ヶ領用水沿いに歩いて20分くらいかかったね。

3年の時に東高津小学校ができてそちらに移ったんだ。5、6年生とか他の学年も一緒に移ったよ。クラスは1学年に3クラスぐらいだったかな。1クラスは50人。ずいぶん近くなって、学校まで歩いて10分くらいだったね。府中街道を横切って。平瀬川の川端を通過して通ったよ。

小学校が変わって、学校が小さく感じたっけ。校舎だけできあがってて、まだ校庭にはガラスが落ちてたりして、ちゃんと整備したグラウンドなんてなかったな。



小学校の頃のことってあまり覚えてないんだけど、高津小学校ではものすごい大声で怒鳴る、おっかない先生がいて怖かったなあ。戦後なのに軍事教練のような指導をされたんだもの。

東高津小学校では担任の先生を随分困らせたことだけはよく覚えているよ(笑)。3年間ずっと同じ担任だったと思うね。

あとね、高津小学校で校舎から運動場へ行く途中の暗いカマボコ型の通路にペスタ

ロッチってポスターが貼ってあったのが印象に残ってるよ。子どもの教育についての偉い人だったらしいけど。

## ◆小学生の頃の思い出いろいろ

小学生の頃は紙芝居がよく来てましたね。黄金バットの話、あと、西部劇の話もやってたなあ。

水飴を買って見るんだけど、ちょっとばかりで終わっちゃうの。気になるからまた次も見なくちゃならないんだよ(笑)。1日おきくらいに来てたっけ。背の高いおじさんでしたね。

着るものは子どもの頃からずっと洋服だったよ。

着物を着た思い出といえばね、小学校の低学年の時、1度だけだけど、着物(袴)を着て、3軒隣の家の結婚式で三々九度の御神酒を注ぐ役目をしたことがあったよ。近所の女の子と2人でね。あの頃って、結婚式は自宅でやるものだったよ。

## ◆中学生の頃

中学は高津中学校だよ。今の養護学校(中央支援学校)があるところにあってね、久本小学校のところがグラウンドだったの。広くてしっかりしたグラウンドだった。僕は運動能力がなかったから、部活はどこも入らなかったよ。

小さい頃はガキ大将だったけど、中学になるともっとすごい奴がいて、そうはいか

なくて、どちらかというとなりしいほうだったね（笑）。

### ◆中学生の頃の思い出いろいろ

僕は鳥が好きでね、ヒバリ、スズメ、ホオジロなどを捕まえてたよ。

スズメはレンガを立てて餌を仕掛けて捕まえるの。スズメは荒っぽくて、捕まえても暴れるんだよねえ。

ホオジロは雪の日に麦わらを弓のようにして稲穂を餌にして仕掛けておくの。その仕掛けのことを‘パッチン’って言った。

飼おうとしたけど大抵うまくいかなかったんだよねえ（笑）。1日か2日で死んじゃうんだ。だから逃がしてやるが多かったね。

あと、本が好きだった。中学の頃は山手樹一郎の小説をよく読んでたよ。ミットヨの門の前に貸本屋があってね、そこでよく借りてたよ。借りる代金は30円くらいだったかな。

子どもの頃から米はほとんど供出していたから、中学の頃も自分たちは麦を食べてましたよ。米は三分の一くらいしか入ってなくてね。おかげで麦は今も苦手だね。

野菜は自家栽培してたから、戦時中もまあ食べるのに困るってことはなかったね。

### ◆高等学校の頃

高校は多摩高校へ行ったよ。第一期生だったんだ。

最初の半年ぐらいは高津中学校に間借り

して、そっちに通っていたんだよ。そのうちに校舎ができて移ったんだけどね。

あちこちの中学で校舎ができるまで待機してたのが合流して、スタートした時の1学年は5組くらいあったかな。まだ校庭に草がいっぱい生えてたもんで、卒業した同期会の名前が「草取り会」っていうんだよ（笑）。

学校周辺には桃がいっぱい生えてて、花も綺麗だった。学校の行き帰りに桃を失敬する奴が随分いたらしいよ（笑）。

多摩高2～3年の時にはバレーボールをやってたね。9人制だったな。僕に運動神経がないせいか、いつも負けてたよな。

学校には溝ノ口まで歩いて、そこから南武線に乗って、宿河原からは10分ほど歩いて通ってたよ。電車は今みたいにきれいじゃなくて、茶色くて床が油っぽい板張りだった。砧の方までチンチン電車（東急玉川線、通称「玉電」）が走ってる時代だからね。

### ◆家業の手伝い

家業の手伝いはよくやったよ。苗代を作ったり、田植えをやったり草取したりさ。勝手に生えてきた稗なんかも抜いてね。それとさ、昔は肥溜めがあったでしょう？で、それを苗代に撒くんだけど、それを手伝わされたもんだ。あれはいやだったなあ。

稲刈りした後は束ねたやつを干すんだ。農作の手伝いなんてやってないように思われがちだけど、ちゃんとやってたんだよ。

畑もね、草むしりとかやったよ。この辺

の土は「荒木田(あらきだ)」っていう土で、粘土質なんだよ。坂戸には嫁に出すな(荒木田は耕すのが大変なので)って言われるくらいなんだ。農業には向かなくて、粘土を作ったり壁土にするには向いてるんだ。



当時は、麦と米の二毛作をしていたよ。冬に麦が育つように万能鍬(まんのうぐわ)ってのをを使って固い土を柔らかくほぐすの。馬を使ったりもしたけどね。それから地面をならすんだ。大変だったよ。でも、この辺の米は旨って話だよ。

田植えの時期に学校が休みになったりはしなかったと思うけど…勝手に休んでたのかな。

#### ◆卒業後のこと

多摩高を卒業してから東京柔道整復師専門学校ってところで2年間勉強して接骨の資格を取ってね。接骨院に勤めたんだけど、体を悪くしてやめたんだ。

接骨院の後、法政大学短期大学部の機械科(2年間・木月)に行っただけ。何とか卒業できたよ。機械のことはあまり興味なか

ったけど経済の勉強が一番面白かった。

それから日本通信にアルバイトに行ったり、ゼネラルモーターでアルバイトしたりしながら不動産の免許も取りました。

27歳の時、親父がクノール食品に土地を譲った縁でクノール食品に就職して15年間勤めたんだ。その間に経理を覚えようと川崎まで通って、簿記を勉強したよ。

32、3歳の頃、信仰心に目覚めて、あの世のことを学びたくって色々な本を読み漁った。

42歳の時にお袋が亡くなったのを機にクノール食品をやめて家に戻って、不動産の会社に9年勤めたんだ。

まあ、色んなことがあったけどねえ、深入りしたわけじゃないけど信仰にも支えられてここまでやってきましたよ。

(平成29年11月21日取材)